



発行所 武相新聞社
 〒194-0005 東京都町田市南町田4-24-20
 編集責任人 山根栄子
 電話 042(799)110000
 (長巻口原)
 00150-3-103219 武相新聞

— 不動産買取販売、分譲建築リフォーム —
 価値ある住まいづくりに専任する

岩波建設(株)

町田市金沢1-12-26
 042-736-7777

本紙ご購入は本社へ
 下記読売新聞販売所へ

MCA

新しい町田へ後押し

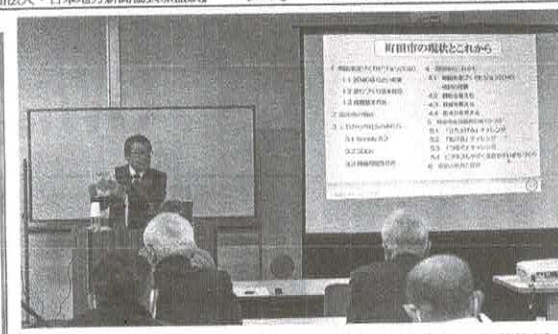
無料聴衆「ヒント」求め傾聴

町田市経営診断協会(MCA、本組員約250名)の理事(以下、無料セミナー)「町田の未来を考えると10分、町田商工会議所開業、オンライン配信も併用した。セミナーは、市の魅力や課題、将来像を読み解くことで、町田の経営者や各企業、支援機関に寄与することが目的。ゲストスピーカーとして登壇した市の「まち未来づくりビジョン2040」(基本構想・基本計画)策定審議委員の大久保英敏(大久保英敏玉川大学工学部教授)は、「ヒントを学ぶ大事な時期で、ヒントはその指標」として今後の社会的な存在の方針を説き、参加者は「経営のヒント」にますます熱心な目を傾けていた。

メンバーは、経営者、中小企業診断士、税理士、行政書士、社会保険労務士、MBA取得者の資格保有者ならびに実際の経営コンサルタントとして活動している専門士。

1994年から2016年までの変遷として、「商都・町田」を代表する町田の発展の年間の歩み(人口は5万2千)を振り返り、人口も減少と減少した反面、通信、訪問販売が台頭、中心市街地の通行車や駅周辺の流通人口も減少と、以前は中心市街地への一極集中型だったが、今は郊外進出、いわゆる住民向け事業も増えている。市内全域ではスーパーや10円ショップが増加傾向にあると分析した。

今後に向けた提言として、町田の強みや交通アクセスの良さ、多摩都市モノレールのルート決定、V商圏(町田駅半径10km圏内の人口200万人)、子育て・教育(子ども転入超過数が都内2位、大学教が多摩地



「ピンチをチャンスに変える大事な時期」と大久保英敏教授

町田市の現状とこれから

1 町田市の現状とこれから
 2 町田市の魅力と課題
 3 町田市の未来と展望
 4 町田市の未来を語る

大久保英敏教授は、町の人口減少について、1994年から2016年までの変遷として、「商都・町田」を代表する町田の発展の年間の歩み(人口は5万2千)を振り返り、人口も減少と減少した反面、通信、訪問販売が台頭、中心市街地の通行車や駅周辺の流通人口も減少と、以前は中心市街地への一極集中型だったが、今は郊外進出、いわゆる住民向け事業も増えている。市内全域ではスーパーや10円ショップが増加傾向にあると分析した。

今後に向けた提言として、町田の強みや交通アクセスの良さ、多摩都市モノレールのルート決定、V商圏(町田駅半径10km圏内の人口200万人)、子育て・教育(子ども転入超過数が都内2位、大学教が多摩地

期と力を込めた。これからの社会の在り方は、V商圏(町田駅半径10km圏内の人口200万人)の維持、3.0の持続可能な社会の3点が大きな流れになるという。

町田のこれからを考えた上で、市民や事業者のさまざまな活動を応援して、「世界に誇れる町田」を実現したいと述べた。

(町田地区)

町田 南都	(788) 0225
町田 成瀬	(721) 5041
町田 東部	(722) 7746
町田 木曽	(722) 3877
町田 玉川	(728) 6675
町田 山崎	(723) 6523
町田 藤の台	(736) 1500
町田 藤山 044	(988) 9855
川 川	(735) 2038
町田 相原	(700) 4450
多摩 境	(798) 1743

(相模原地区)

相模 大野	(742) 5655
大野 中央	(748) 0234
東 林 間	(743) 1043
古 淵	(705) 3394
淵野辺 中央	(752) 2213
淵野辺 南部	(758) 9505

を中心に回って来た20世紀に対し、21世紀は環境紀に優先、つまり経済と環境のバランスを取った施策が必要」と述べ、手法に「地産・地消を取り入れた財政の健全化」

「世界に誇れる町田」を実現したいと述べた。

教育分野を再考、「多様な働き方、長時間労働解消などの働き方改革」を挙げ、「市の産業振興計画では、3.0の持続可能な社会の3点が大きな流れになるという。

町田のこれからを考えた上で、市民や事業者のさまざまな活動を応援して、「世界に誇れる町田」を実現したいと述べた。